

インフラから、次の未来へ

プラットフォームで開発を加速

KKC D2PF

D2PFは地理空間情報のパイオニア、国際航業によって開発されたプラットフォームエンジニアリング製品です。地理空間情報の利活用を中心に据えてシステム開発に必要な様々な機能を用意し、チーム内の開発スピードを加速させます。

GISプロジェクトの即戦力

開発スピードの向上

インフラ構築テンプレートやGISに必要な基盤機能をあらかじめ用意しており、迅速な開発をサポートします。

運用負荷の低減

マネージドサービスやインフラテンプレートを活用することで、運用設計をサポートし、保守運用の手間を大幅に軽減できます。

セキュリティ

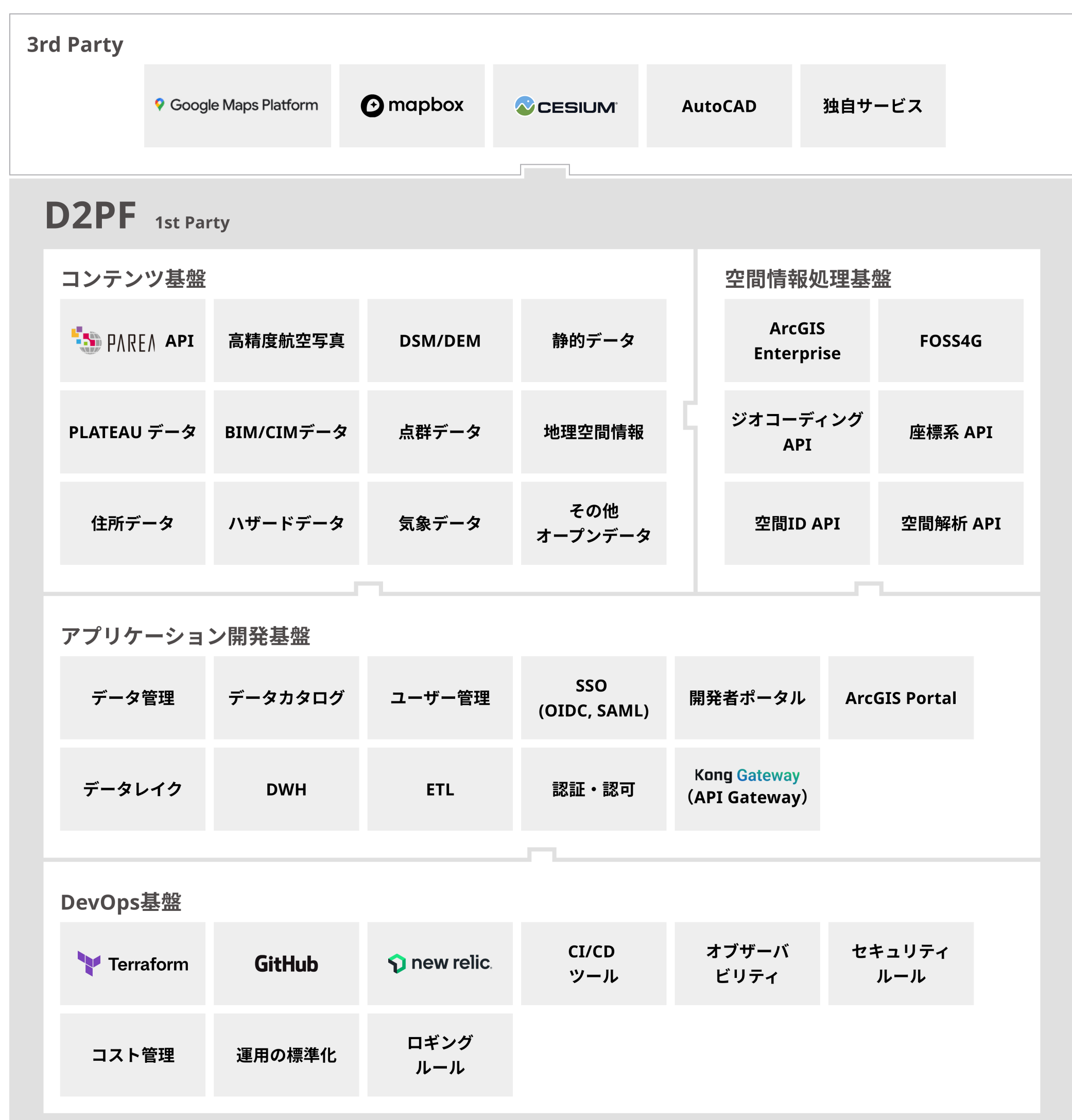
認証認可基盤や監査ログ基盤を利用することで高度なセキュリティ・ガバナンス対応を実現します。

各種GISデータ

多様なGISデータを収集・更新運用の手間なくすぐに活用できます。さらに、お客様のコンテンツを搭載・配信することもでき、データの下準備などの作業を簡略化できます。



プラットフォームの全体像



—— 各種サービスを使って作成されたアプリケーション

コンテンツ基盤

国際航業が保有する航空写真などのデータに加え、お客様のデータの安全な管理、付加価値の生成、API配信機能などを利用可能

空間情報処理基盤

国際航業製の住所検索機能、データ配信機能などに加え、ArcGIS(Esri, Inc.)環境を利用可能。地図システムに必要な基本的な機能を提供

アプリケーション開発基盤

システム開発に必要な認証認可機能、データ管理機能、開発者向けポータルサイト、APIGW機能などがツールセットとして利用可能

DevOps基盤

プラットフォームエンジニアリングに必要な開発環境 (CI/CD, IaCツール)、標準化された運用ルール(セキュリティ, 監視)を標準装備

